

道路の改良

第二輯



◆ 道路改良會 ◆



道路改良會設立趣意書

邦家の隆運を昌にし公衆の福祉を進むるの途固より一ならずとも交通機關を開發振興し其の最も要なるものを交通機關と爲すを得るに至るべく著しきものを加へて都市の股脈繁榮愈大なるを致し物價の如きも各地を通じ能く平準を保つことを得るに至るべく著しきものを加へて國連の進歩に資する所極めて多きのみならず一旦有事の秋に際會せば國防上に至大の利便を供與す可きや固より疑を容れず。

願ふに明治の維新に方り開闢進取の國是一たひ定まりたる以來海に陸に銳意して交通機關の設備に勉め成績の發達したるに比して今尙遜色ある最も普遍的な交通機關たる道路の發達は尙ほ未だ然らずるに對しては尤も其の必要なるを感ずる所あり然るに其の統一整備を缺くのみならず路幅之乏狭隘にして其の交通の便を阻むるもの多きことを以て其の改良の必要なるを痛感す。

忽ち地方の道路に至りては其の不備尤も六十餘箇所の多きを算するのみならず其の改良の必要なるを痛感す。五分の一の聯絡を欠くは其の不便なるを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

配られたる軍用自動車保險の如し是れは或は國土の形自ら道路の開設に困難ならしめたるものと雖も鐵道の開通は其の便を免れずるに於ては尤も其の必要なるを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

我が邦の道路の不便を免れずるに於ては尤も其の必要なるを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

一に時道路の便を免れずるに於ては尤も其の必要なるを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

異なる時道路の便を免れずるに於ては尤も其の必要なるを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

近顯著なるもの多きを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

顯著なるもの多きを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

府縣以下の道路改良の期に當りては尤も其の必要なるを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

列國平和の爲むに於ては尤も其の必要なるを感ずる所あり然るに其の改良の必要なるを痛感す。

關する方針を講究して其の速に其の目的を達成するか爲に一臂の力を致されむことを。

道路の改良第二輯目次

道路行政……………常務理事 堀田貢……………一

鐵道側より觀たる道路改良問題

鐵道省名古屋鐵道局

運輸課長 岸本熊太郎……………五六

倫敦通信……………幹事内務書記官 佐上信一……………六八

附

道路改良會第一回定時會員總會記事……………八一